

CARICOM (カリブ共同体) 加盟 14 か国: 各国紹介

外務省カリブ室

●ベリーズ

首都: ベルモパン
面積: 2万2,963km²
(四国より少し大きい)
人口: 32.4万人
言語: 英語
GNI: 14億1,900万ドル
(2011年)
一人当たりGNI: 4,490ドル
(2011年)

国概要: カリコムの一員であると共に、中米大陸に位置し、2000年に中米統合機構 (SICA) に加盟。台湾承認国。経済は農水産業を中心とし、日本向けに魚介類やオレンジ (ジュースに加工) を輸出。また、世界第2位の広さの珊瑚礁群 (ベリーズ珊瑚礁保護区として世界自然遺産に登録)、マヤ文明遺跡群など観光資源も豊かで、近年は観光業の発展がめざましい。

●ジャマイカ

首都: キングストン
面積: 1万1,424km²
(秋田県とほぼ同じ)
人口: 276万人
言語: 英語
GNI: 138億9,800万ドル
一人当たりGNI: 5,120ドル

国概要: 英語圏カリブ地域の中心国。日本とは2014年に外交関係樹立50周年を迎えた。経済面では、観光業、鉱業 (ボーキサイト及びアルミナ)、農業 (砂糖、バナナ等) が中心であるほか、海外からの送金に依存。また、レゲエ音楽、ブルーマウンテン・コーヒーは日本でも人気。ウサイン・ボルト選手をはじめ陸上競技選手が世界的に活躍。

●ハイチ

首都: ポルトープランス
面積: 2万7,750km²
(北海道の約3分の1)
人口: 1,013.5万人
言語: 仏語
クレオール語 (共に公用語)
GNI: 76億9,100万ドル
一人当たりGNI: 760ドル

国概要: 1804年に中南米諸国で最初に独立。世界初の黒人共和制国家。しかし、独立後も長年に亘る政情不安が続き、中南米で唯一国連PKOが展開中。国民の3分の2が1日1ドル以下で暮らす、西半球の最貧国。死者約32万人を出した2010年の地震により大きな被害を受け、現在も引き続き、地震からの復興及び開発に取り組んでいる。台湾承認国。

●ガイアナ

首都: ジョージタウン
面積: 21万5,000km²
(本州よりやや小さい)
人口: 75.8万人
言語: 英語
GNI: 27億1,000ドル
一人当たりGNI: 3,410ドル

国概要: 南米大陸北部に位置し、大西洋に面した沿岸低地国。カリコム最大の面積を有し、国土の約75%は熱帯雨林が占める。こうしたことから、気候変動分野において活発な外交活動を展開、気候変動に対する森林保護の重要性を主張。経済面では、砂糖、ボーキサイト、木材の生産・輸出が中心。首都ジョージタウンには、カリコム事務局が設置されている。



トリニダード・トバゴ首都 ポートオブスペイン
(撮影: 外務省カリブ室)



ドミニカへの水産無償案件、ポーツマス水産センター棧橋

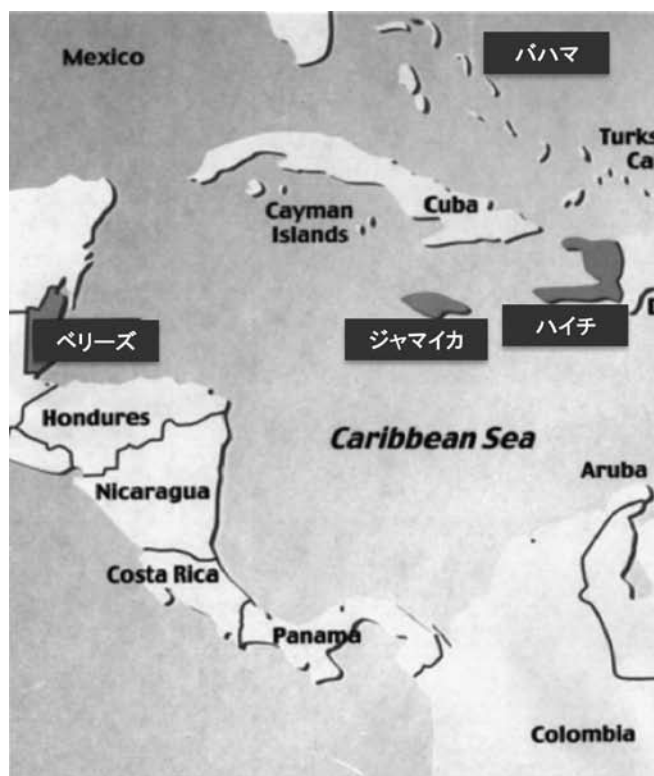


セントルシアのアンズ・ラ・レイ
水場施設水産無償プロジェクトの施工現場で
(提供: 徳倉建設)

●バハマ

首都: ナッソー
面積: 1万3,878km²
(福島県にほぼ同じ)
人口: 35.1万人
言語: 英語
GNI: 76億6,100万ドル
一人当たりGNI: 20,600ドル

国概要: 約700の島のうち、人が住んでいるのは約30。カリブ海クルーズの中心で、観光客の8割以上を米国が占め、米国経済の影響を受けやすい。観光立国であるとともに、オフショア金融国家で、外国企業や金融機関の誘致のためにタックスヘイブン政策を採用。外国の銀行や多国籍企業が事務所を設置しているほか、世界でも有数の船籍国。



●スリナム

首都: パラマリボ
面積: 16万3,820km²
(日本の約2分の1)
人口: 53.4万人
言語: オランダ語 (公用語)
GNI: 46億4,200万ドル
一人当たりGNI: 8,680ドル

国概要: 南米アマゾン河の北部に位置する沿岸低地国。オランダ語を公用語とするが、アフリカの言語と英語が融合したスラナントゴ (タキタキとも呼ばれる) も話し言葉として使用。インド系、アフリカ系、インドネシア系、マルーン系、先住民等民族構成が多様。金及びボーキサイト、石油を産出。主に金の価格高騰に支えられ、好調な経済を維持。

(注) 各国データについて断りのない場合は2012年／データの出典、人口についてはECLAC／GNI及び一人当たりGNIについては世銀(単位は米ドル)

●セントクリストファー・ネーヴィス

首都：バセテール 言語：英語
面積：262 Km² GNI：7億2,900万ドル
(西表島とほぼ同じ) 一人当たりGNI：13,610ドル
人口：5.4万人

国概要：面積・人口共にカリコ諸国で最小。セントキッツ・ネーヴィスも公式名称。セントクリストファー島とネーヴィス島から構成される。セントキッツ・ネーヴィス労働党のダグラス首相は95年以降4期連続で首相を務める長期政権。台湾承認国。東カリブ諸国機構(OECS)に参加。

●アンティグア・バーブーダ

首都：ブリッジタウン 言語：英語
面積：431 Km² GNI：11億1,200万ドル
(種子島とほぼ同じ) 一人当たりGNI：12,480ドル
人口：27.5万人

国概要：アンティグアの国名はスペインのセビリア大聖堂の Santa María de la Antigua の聖母像にちなんで名付けられたと言われる。観光を中心とした経済構造のため、欧米諸国からの観光客の増減や自然災害等の外的要因からの影響を受け易い。特に2008年の世界的不況後には大きく経済が落ち込み、慢性的な財政難と対外債務に苦しんでいる。東カリブ諸国機構(OECS)に参加。

●ドミニカ国

首都：ロゾー 言語：英語(公用語)、
面積：750 Km² 仏語系パトワ語
(佐渡島よりやや小さい) GNI：42億7,000万ドル
人口：27.5万人 一人当たりGNI：15,080ドル

国概要：国名の由来はコロンブスに発見されたのが日曜日(西語で Domingo)であったため。島の大半が熱帯性常緑雨林に覆われ、植生が豊かな別名「カリブの植物園」。カリブの先住民であるカリブ族の子孫が生存する。仏の海外領土に挟まれており、セントルシアと並んで仏の影響が色濃く残っている。東カリブ諸国機構(OECS)に参加。

●バルバドス

首都：ブリッジタウン 言語：英語
面積：431 Km² GNI：42億7,000万ドル
(種子島とほぼ同じ) 一人当たりGNI：15,080ドル
人口：27.5万人

国概要：19世紀中頃には有数の英国領植民地として繁栄し、同国の影響を最も色濃く残している「小英国(Little England)」。観光を中心とした経済構造のため、欧米諸国からの観光客の増減や自然災害等の外的要因による影響を受け易く、2008年の世界的不況後には大きく経済が落ち込んだ。1994年には、「小島嶼国の持続的な開発に関する国際会議」を主催する等、国連等国際場裡で小島嶼国の利益の代弁者として積極的な外交を展開。

●グレナダ

首都：セントジョージズ 言語：英語(公用語)、
面積：345 Km² 仏語系パトワ語
(種子島より少し小さい) GNI：7億6,100万ドル
人口：10.5万人 一人当たりGNI：7,220ドル

国概要：1979年のクーデターにより成立した人民革命政権に対する、米軍を中心としたグレナダ侵攻(1983年)は、映画のテーマにもなる等よく知られている。シナモン、クローブ、ブラック・ペッパー、バニラ等数々の香料が特産品で、特にナツメグは国旗にもあしらわれている。別名「スパイス・アイランド」。東カリブ諸国機構(OECS)に参加。

●トリニダード・トバゴ

首都：ポートオブスペイン 言語：英語
面積：5,128 Km² GNI：196億7,300万ドル
(千葉県よりやや大きい) 一人当たりGNI：14,710ドル
人口：135万人

国概要：1962年英国から独立、アフリカ系、インド系の二大民族を中心とした多民族国家。日本とは2014年に外交関係樹立50周年を迎えた。天然ガス、石油などのエネルギー資源を産出する資源国で、関連産業を中心に経済が発展し、経済規模はカリコで最大。一方で音楽とカーニバルの国でもあり、カリブソ、ソカ、スティールパンの発祥地。

●セントルシア

首都：カストリーズ 言語：英語(公用語)、
面積：616 Km² 仏語系パトワ語
(淡路島とほぼ同じ) GNI：12億4,600ドル
人口：17.8万人 一人当たりGNI：6,890ドル

国概要：17世紀から約150年に渡る仏支配、その後14回英仏間での領有変更があったため、仏の影響が強く残っている。東カリブ諸国機構(OECS)6カ国の内最大規模の国であり、OECS事務局が所在。2名のノーベル賞受賞者を輩出しており(内1名は英領時)、人口あたりの受賞率は世界一。

●セントビンセント及びグレナディーン諸島

首都：キングスタウン 言語：英語(公用語)、
面積：389 Km² 仏語系パトワ語
(種子島より少し小さい) GNI：7億ドル
人口：10.9万人 一人当たりGNI：6,400ドル

国概要：火山島で山がちなセントビンセント島と、白砂の美しい砂浜に恵まれたリゾート地としても有名な32の小島から成るグレナディーン諸島で構成される。ベキエ島では先住民が捕鯨を実施。統一労働党のゴンザルベス首相は安定した政権運営を行っており、現在三期目。台湾承認国。東カリブ諸国機構(OECS)に参加。

